

令和 7 年 4 月 12 日

陸運安全協力会
会員会社各位

昭和四日市石油(株)四日市製油所
陸運安全協力会長 岩野 淳作



タンクローリーアースの再度見直しと人体除電のお願い

平素、安全協力会の活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

タンクローリーのアースについては、令和 5 年 4 月 22 日発生したトラブルの再発防止対策の一環としてタンクローリーアースの取り付け方法、位置について陸運安全協力会より令和 5 年 5 月 18 日付文書【タンクローリーアースの見直し(依頼)】にてお願いをしております。

本年3月の施設係員によるチェックの結果、タンクローリーのアースについて現在でもトラック側でアース接続している事例があり、製油所操油課殿より再度注意喚起を求められましたので、タンク側にアース接続をして頂くよう重ねてお願い申し上げます。

記

タンクローリー積込み時の着火事故を防止するためには、ローリーのタンク(トレーラー)が確実に接地されている必要があります。貴社のローリーについて以下の項目について再度の確認と改善をお願いする次第です。

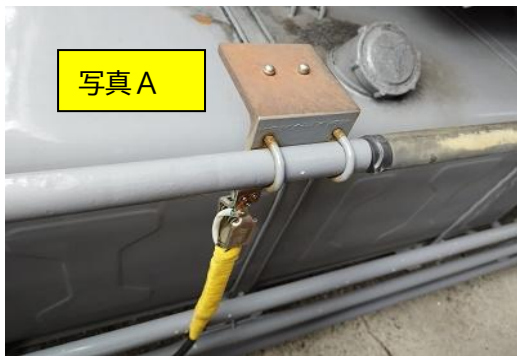
また、除電棒を使用した人体除電についても乗務員への再度周知をお願いします。

(1) アース端子の導通確認

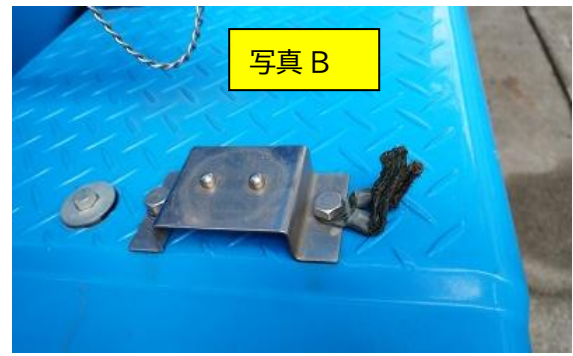
アース端子(現在は全てマグネット端子)と地の金属が導通しているかテスター等で抵抗値を確認して下さい。導通不良の場合は、ペンキを剥がして付け直して下さい。

写真 A、写真 B では、トラック側にアース端子がありますが、タンクとの導通をテスターにより直接確認して下さい

ペンキの上から U ボルトでラグを固定している。取付けバーの地金と本当に導通しているのか？



ペンキの上からボルトでラグを固定している。ペンキ下の地金とアース端子は本当に導通しているのか？



現在は、製油所積場側のアース端子はマグネットタイプに変更になっています。

(2) アース端子は、タンク（トレーラー）側に設置すること

積込時のアース接続位置は、タンク側として下さい。

理由：キングピンを介してトラックとタンク（トレーラー）に常時確実に導通があるのかは疑問です。タンクそのものが接地されていなければ、静電気発生による着火事故が起こる可能性は高くなります。

- (1) については、未実施の場合は速やかに点検、是正をお願いします。
- (2) については、未完の場合は速やかにアース端子をタンク側に移設（新設）して下さい。

(3) 人体除電について

毎月のパトロールで 人体除電が不完全である との指摘が散見されています。

除電棒があることを知らない乗務員もいます。再度周知をお願いします。

人体除電も発火事故を防止するために不可欠な操作です。

階段手すりに設置されている人体除電棒（ステンレスのパイプ）を使用して必ず人体除電を行って下さい。

階段の登り口の手すりに、除電棒が接地されています。

ステージに上がる前に、必ず素手で触れて人体除電を行って下さい。

除 電 棒

写真 C 人体除電棒



以上